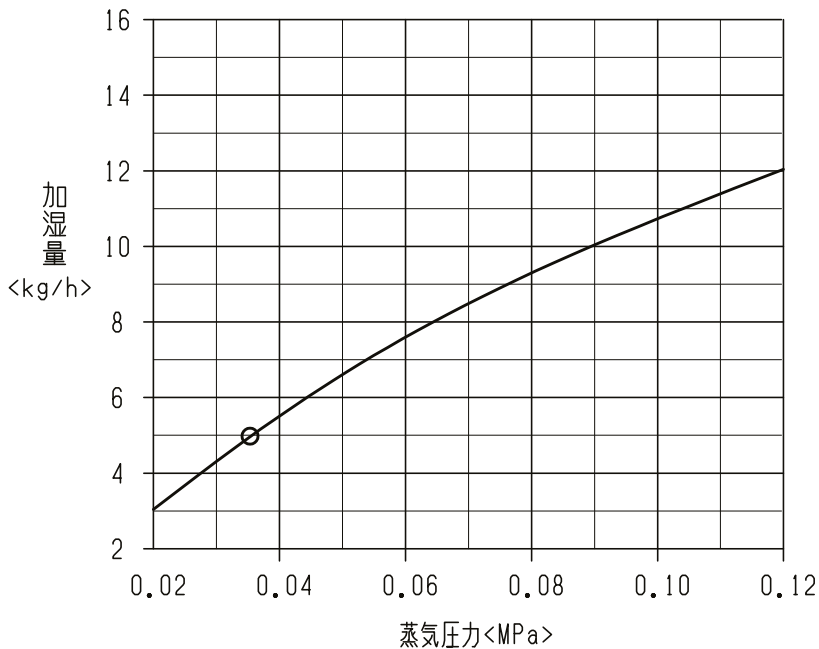


別売加湿器 能力線図

別売部品	ユニット形名	PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A PFAK-P335AW(M)-A-F PFAV-P280M-A PFAV-P335M-A-F PFAV-P280M-E PFAV-P335M-E-F PFAV-P280(W)CM-E	PFAV-P335CM-E-F PFT-P250CM-E PFAV-RP280CM-E PFAV-P280DM-E(1) PFAV-EP280DM-E PFAV-P335DM-E(1)-F PFT-P280DM-E(1) PFAV-P280DME3 PFAV-P335DME3-F PFT-P280DME3
	蒸気スプレー式加湿器	PAC-CG03SS	
水スプレー式加湿器	PAC-CG13, 23WS	受注対応	

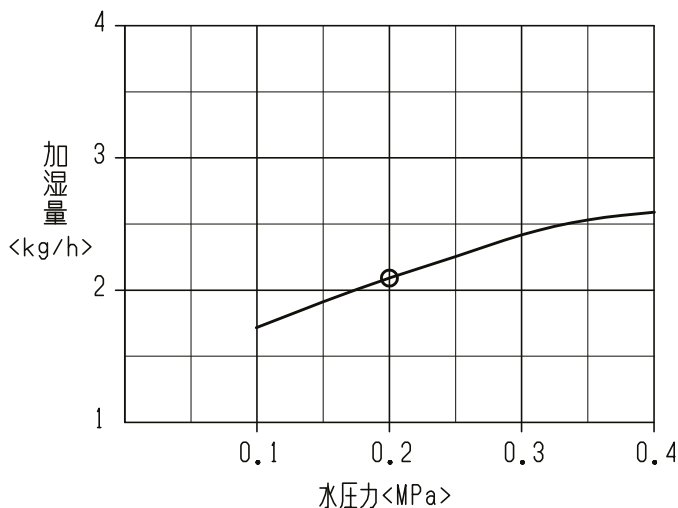
蒸気スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

- 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。〈塞止弁にしてもよい〉 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁〈または塞止弁〉を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするようにPFAK, PFTK形の場合は製品本体制御基板のDIPSW4-6、PFAV形の場合はDIPSW1-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が結露し、機外に露が飛び出ることがあります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒータと同時組み込んでください。

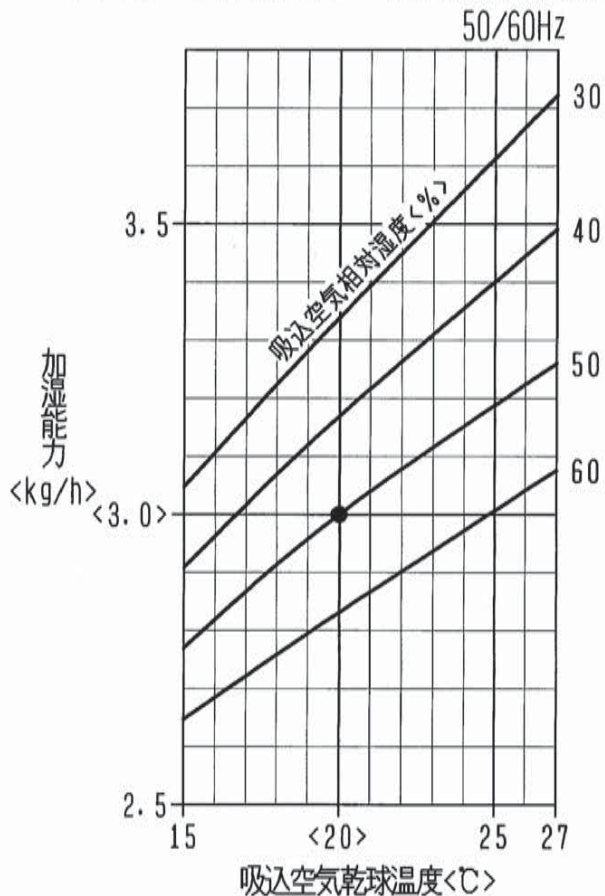
水スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形〈ヘッダー本数2本〉の場合は左記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒータと同時組み込んでください。

PAC-CE32TF 透湿膜加湿器能力線図



PAC-CE33TF 透湿膜加湿器能力線図

